

平成24年度事業計画書

自 平成 24年4月 1日

至 平成 25年3月31日

項 目	内 容
<p>「日本美術展覧会」の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第44回日本美術展覧会 	<p>日本画・洋画・彫刻・工芸美術・書の5科からなる総合美術展。</p> <p>(会 期)11月2日(午前10時開会)～12月9日(午後6時閉会) 毎週火曜日休館</p> <p>(会 場)国立新美術館(東京都港区六本木7-22-2)</p> <p>(授 賞)内閣総理大臣賞・文部科学大臣賞</p> <p>会員(会長・顧問・理事・監事・参事を除く)の出品作品中、特に優秀なものを大臣賞として各大臣あてに推薦。(各科1名以内)</p> <p>理事及び会長・顧問からなる選考委員会の審査により決定。</p> <p>内閣総理大臣賞 日本画、洋画</p> <p>文部科学大臣賞 彫刻、工芸美術、書</p> <p>日展会員賞</p> <p>会員(会長・顧問・理事・監事・参事・参与・評議員を除く)の出品作品中、特に優秀なものに日展会員賞を授与。(各科1名以内、計5名以内)</p> <p>理事及び会長・顧問からなる選考委員会の審査により決定。</p> <p>特選</p> <p>入選作品中、優秀なものに特選を授与。(各科10名以内、計50名以内)</p> <p>(巡回日展)東京会場終了後、京都、名古屋、大阪、福岡、富山を巡回予定。 (調整中)</p>
<p>美術に関する講演会及び講習会の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・講演会 ・映像による作品解説 ・らくらく鑑賞会 ・ミニ解説会 	<p>日展会期中に国立新美術館との共催により開催。美術評論家や全国美術館長、学芸員などが日展各科について専門的・客観的視点で講演。(11月3日、4日、10日、17日、23日開催予定)</p> <p>日展会期中に国立新美術館との共催により開催。日展作家が各科出品作品を映像によりわかりやすく解説。(11月3日、4日、10日、17日、23日、24日、12月1日、2日開催予定)</p> <p>日展会期中に国立新美術館との共催により開催。日展作家が全科主要作品を解説。参加者は昼食、休憩をはさみ、ゆっくりと鑑賞。(予約制 11月5日、19日、26日、12月3日開催予定)</p> <p>日展会期中の平日(土曜・日曜・祝日・展覧会初日を除く)に開催。各科出品作家が30分程度で主要作品を解説(予約制)</p>
<p>美術鑑賞及び創作に関する体験講座等の開催</p> <ul style="list-style-type: none"> ・アートスクール ・親子鑑賞教室 ・夏休み一日ART体験 Oneday Art 	<p>日展会館において定期的に開催。</p> <p>日展会期中に国立新美術館との共催により開催。(予約制 11月11日、18日、25日開催予定)</p> <p>日展会館において夏休みの子供を対象に開催。(予約制)</p>

項 目	内 容
<p>研究冊子及び図書の刊行</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 出版物制作、頒布 <ul style="list-style-type: none"> ・ 「日展ニュース」の発行 	<p>第44回日展の陳列作品を掲載した刊行物と絵はがき・写真類を制作、販売。</p> <p>「日展目録」 作品名・作家名等を陳列順に列挙。</p> <p>「日展作品集」 全会員、審査員、受賞者の陳列作品をオールカラーで収録。</p> <p>「日展アートガイド」 主要作家、審査員、受賞者の陳列作品をオールカラーで収録。作家自身による作品解説付。</p> <p>「日展図録」(5科5分冊) 科別に全出品作品を収録。日本画・洋画・彫刻・工芸美術部門はオールカラー、書部門は一部カラー。</p> <p>その他、日展作家・作品に関連した商品を企画し制作、販売。 「日展アートコレクション」、2013年版カレンダー等</p> <p>日展の広報紙。年4回発行し、出品者及び美術関係機関等に送付。</p>
<p>美術に関する研究及び調査</p>	<p>日展会館及び新・日展会館(仮称)のスペース貸出し</p> <p>美術に関する研究及び調査の一環として、日展会館及び新・日展会館(仮称)のスペースを主に美術関係団体等に貸し出し、作品陳列や研究会の場として提供。</p>